

令和7年度広島県カーボンリサイクル関連技術研究開発支援業務に係る  
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項 目	内 容
1	日 時
2	場 所
3	出席委員
4	議 題
5	担当部署
6	開催方法
7	議事内容

令和 7年 4月 9日 10時から11時まで

オンライン

河村 敏成（広島県環境県民局 環境政策課長）  
 門永 吉章（広島県商工労働局 イノベーション推進チーム イノベーション環境整備担当課長）  
 崎本 龍司（広島県商工労働局 イノベーション推進チーム 地域産業デジタル化推進担当課長）  
 出射 太（広島県商工労働局 自動車・新産業課長）  
 島 正和（広島県商工労働局 環境・エネルギー産業課長）

令和7年度広島県カーボンリサイクル関連技術研究開発支援業務に係る企画提案公募に対する民間事業者からの提案書等の審査

商工労働局 環境・エネルギー産業課

- 1 参集
- 2 持ち回り

企画提案のあった提案書1件について、次のとおり審査を行い、最優秀提案者を決定した。

1 企画提案者

提案者名	代表者名
A 株式会社リバネス	高橋 修一郎

2 審査方法

企画提案者が企画提案書を基にプレゼンテーション(20分)を行った後、質疑応答を実施。提案者退出後、公表している審査基準により評価を行い、最優秀提案者を決定した。

3 審査の内容（A者の審査内容）

- (1) 主な質疑応答
  - 別紙「質疑応答内容」のとおり
- (2) 評価結果
  - 別紙「評価結果」のとおり

4 選定結果

- 次のとおり、最優秀提案者を決定した。
  - (1) 最優秀提案者

提案者名		代表者名	評価点／満点
A	株式会社リバネス	高橋 修一郎	221／300
<p>(2) 選定理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価点が、最低基準点として設定している評価基準に基づく各評価項目の配点の合計の100分の60以上の点(180点)を上回り、最も高い評価値を得たため。</li> <li>・全体的に具体的かつ実現性の高い提案内容であるとともに、専門的知識を有するスタッフの配置や県内外の研究機関やスタートアップ支援に係るパートナー企業との幅広いネットワークを有しており、当該事業における過年度の受託実績も踏まえ、CRの社会実装に向けた効果的な研究支援が期待できる。</li> </ul>			

別紙（質疑応答内容）

質問	回答
採択者の研究支援期間終了後の大規模資金の獲得や社会実装支援の説明について、具体的な支援内容を教えてください。	採択者には起業を検討されている方もおり、当法人が実施しているアクセラレーションのプログラムに誘導するなど、起業に向けた支援をしていくことが想定されます。
若手研究者支援について、県の仕様書では、35歳未満を要件としていますが、提案書では25歳未満の研究者となっています。記載ミスでしょうか。	はい、記載ミスです。35歳未満として訂正します。
若手研究者支援のイベントについて、例えば、次世代教育と絡めて、学生に参加を促し、興味を持った学生が若手研究者支援プログラムに挑戦してみようという繋がりを持つようなイベントにすることで、より効果を発揮できるのではないかと考えています。仮に採択者に決定された場合は、企画提案された内容に、次世代教育と絡める等の変更について検討余地があるか教えてください。	次世代を巻き込むことはもちろん可能です。大学生や高校生なども我々のネットワークに入っており、広島大学を始めとした県内の大学生、大学研究機関や高校生などに呼びかけて、イベントを実施する提案はできます。
若手研究者の採択について、研究内容を見極めて採択する際の重要視している判断基準について教えてください。	若手研究者については、主には、主体性、新規性が非常に重要だと考えています。 特に、主体性については、事前に面談を行い、今後どのような活動をしていくか、参加意欲といったところを評価するなど、重要視しています。主体性の高い方は、今後、勉強会やセミナーへも参加していられるでしょうし、そういった方々は将来的にも継続して頑張っていられる方が多いと考えています。
採択者への3ヶ月に1回のミーティング実施について、採択者から月1回程度のミーティング実施の要望があった場合、どう対応されるのか教えてください。	3ヶ月に1回と記載しているのは原則で、最低限実施する回数です。採択者の研究状況によって、面談等の支援は個別に設定し、必要なだけ実施させていただきます。
スタートアップの資金調達支援や助成金獲得支援の経験について、具体的にどの程度まで踏み込んで支援されるのか教えてください。	過去の経験で言いますと、SBIRやNEDOへの申請について、研究者にご案内の中で、申請したいといった場合には、研究テーマや必要な予算感などを一緒に協議することも多くあります。また、出口が具体性を持って描けるようにフォローアップもさせて頂きたいと考えていますし、NEDOなど申請書類作成のノウハウもあり、しっかりアドバイスできると考えています。

別紙（評価結果）

審査の項目	配点	提案者A の評価点	評価
1 遂行能力-(1) 大学研究者やスタートアップ等の支援対象について、各主体のシーズや、ニーズに対する幅広い知見を有している。	30	24	高度専門人材で構成される法人であり、幅広い研究分野におけるシーズ・ニーズを的確に把握しており、それに基づいた効果的な支援が期待できる。
1 遂行能力-(2) カーボンリサイクル関連技術の実証先や研究連携先、カーボンリサイクル製品・サービスのサプライチェーンとなり得る県内企業・団体等との関係性が構築できている。	30	22	スタートアップや研究者等との幅広いネットワークを有しており、期待できる。
1 遂行能力-(3) カーボンリサイクル関連技術の研究に対し、専門性の高い人材活用や最新の動向を把握する有効な手段を有している。	30	24	自社の専門人材が豊富であることに加えて、テックプランターや超異分野学会など、カーボンリサイクル分野においても有効な手段を有していると認められる。
1 遂行能力-(4) 自社若しくは、自社の支援による外部資金獲得の実績やノウハウを有している。	30	23	国プロの獲得実績や、スタートアップ支援や大学発ベンチャーの発掘・育成にかかるノウハウが豊富であり、期待できる。
2 企画提案-(1) 具体性があり、カーボンリサイクル製品・サービスの広島県内での社会実装という目的の実現に向けて、高い効果が期待できる提案となっている。	60	48	採択者の募集から審査・伴走支援に係る提案が具体的かつ実現性の高い提案内容であり、社会実装に向けた大きな成果が期待ができる。
2 企画提案-(2) 「広島県がカーボンリサイクルの研究拠点である」というブランド価値の向上や、広島県内へのカーボンリサイクルという新たな産業の集積につながるイベント活動が提案されている。	60	40	若手研究者支援プログラムでは、CR 実証研究拠点との連携や、次世代教育の視点を加味すると、より効果が発揮できると思われる。
3 実施体制等 スタッフの配置や従事時間等の業務実施体制が適切で、実施スケジュールにも無理がない内容となっている。経費の積算が適切である。	60	40	専門的知識を有するスタッフの配置は心強いし、業務遂行にあたり柔軟に対応する姿勢も評価できる。
合 計 点 数	300	221	【総括意見】全体的に具体的かつ実現性の高い提案内容であるとともに、専門的知識を有するスタッフの配置や県内外の研究機関やスタートアップ支援に係るパートナー企業との幅広いネットワークを有しており、当該事業における過年度の受託実績も踏まえ、CR の社会実装に向けた効果的な研究支援が期待できる。